

各地の児童館の動向

(アンケート調査結果)

調査概要

対象：全国の児童館 4,477 館（平成 30 年時点）

配布方法：

- 全国児童館連絡協議会を通じて、各都道府県児童館連絡協議会に依頼（2,504 館）
- 都道府県児童館連絡協議会がない場合は、都道府県・政令指定都市を通じて市町村に依頼

実施期間：令和 2 年 10 月 8 日（木）～12 月 16 日（水）

回答方法：ウェブ、メール、ファックス、郵送

回答数（回答率）：1,837 件（41.3%）

設置運営	回答数	割合
公設公営	962	52.4%
公設民営	811	44.1%
民設民営	64	3.5%
合計	1,837	100.0%

運営状況

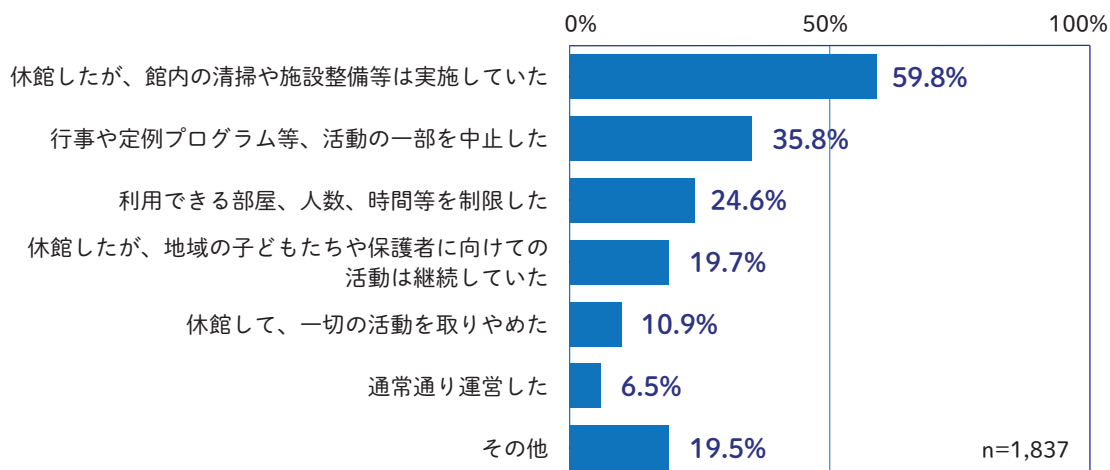
(1) 緊急事態宣言が発令された令和 2 年 3 月から 5 月末頃の運営・活動の状況（複数選択）

	回答数	割合
休館したが、館内の清掃や施設整備等は実施していた	1,099	59.8%
行事や定例プログラム等、活動の一部を中止した	658	35.8%
利用できる部屋、人数、時間等を制限した	452	24.6%
休館したが、地域の子どもたちや保護者に向けての活動は継続していた	362	19.7%
休館して、一切の活動を取りやめた	201	10.9%
通常通り運営した	119	6.5%
その他	359	19.5%
合計	3,250	100.0%

n=1,837

「休館したが、館内の清掃や施設整備等は実施していた」が 59.8% で最も多い。「休館して、一切の活動を取りやめた」が 10.9%、「通常通り運営した」は 6.5% であった。

「その他」（19.5%）には、「休館したが、学童クラブのみ運営した」が多くあった。



(2) 「本来」(コロナ禍以前)に取り組んでいた活動と「緊急期間」「緊急期間以降」に取り組んだ活動

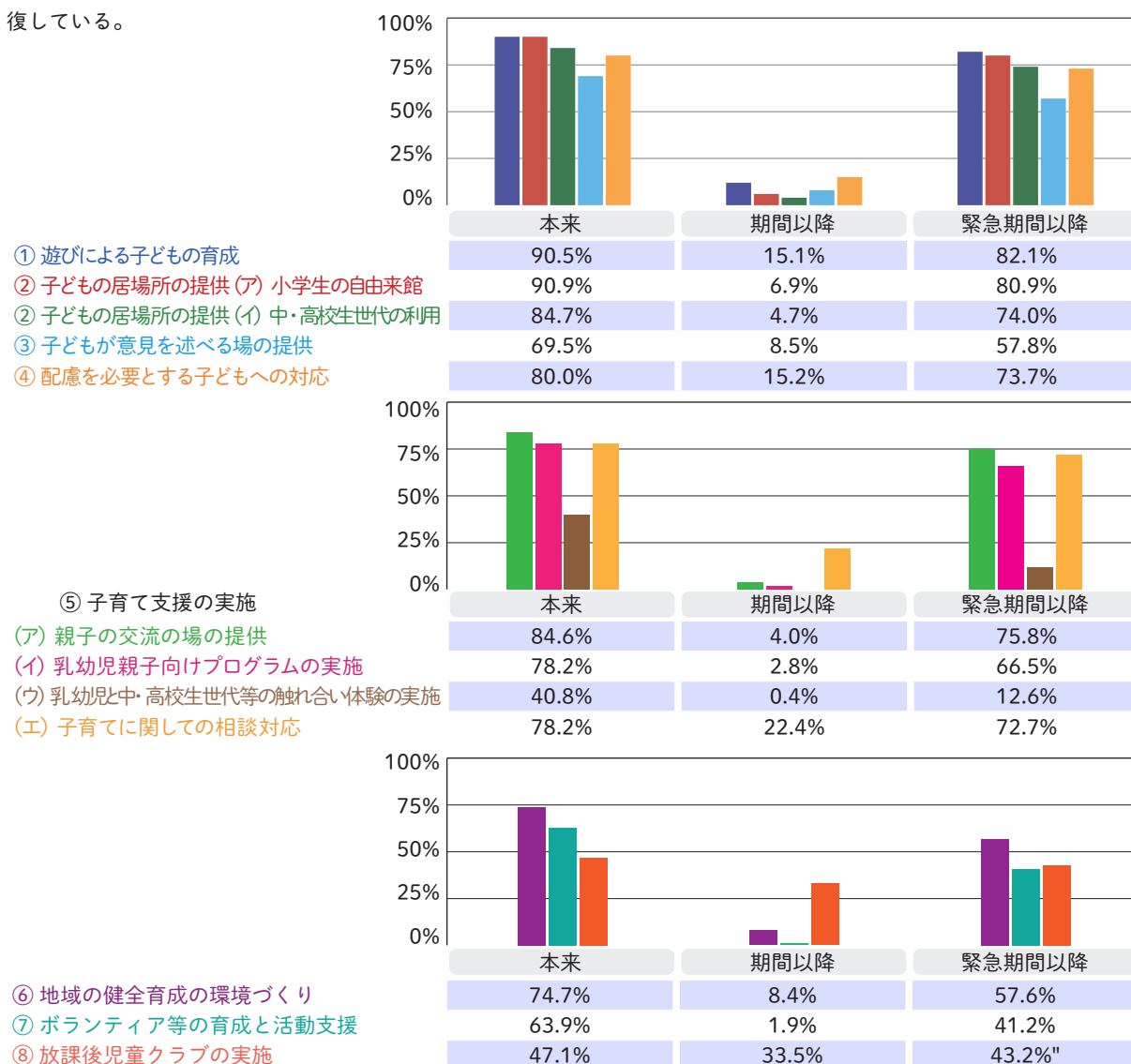
	本来		期間以降		緊急期間以降	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
① 遊びによる子どもの育成	1,663	90.5%	277	15.1%	1,508	82.1%
② 子どもの居場所の提供						
(ア) 小学生の自由来館	1,670	90.9%	126	6.9%	1,486	80.9%
(イ) 中・高校生世代の利用	1,556	84.7%	86	4.7%	1,360	74.0%
③ 子どもが意見を述べる場の提供	1,277	69.5%	157	8.5%	1,062	57.8%
④ 配慮を必要とする子どもへの対応	1,470	80.0%	280	15.2%	1,354	73.7%
⑤ 子育て支援の実施						
(ア) 親子の交流の場の提供	1,554	84.6%	74	4.0%	1,393	75.8%
(イ) 乳幼児親子向けプログラムの実施	1,437	78.2%	51	2.8%	1,222	66.5%
(ウ) 乳幼児と中・高校生世代等の触れ合い体験の実施	749	40.8%	7	0.4%	231	12.6%
(エ) 子育てに関する相談対応	1,437	78.2%	411	22.4%	1,336	72.7%
⑥ 地域の健全育成の環境づくり	1,372	74.7%	154	8.4%	1,059	57.6%
⑦ ボランティア等の育成と活動支援	1,174	63.9%	35	1.9%	756	41.2%
⑧ 放課後児童クラブの実施	866	47.1%	616	33.5%	794	43.2%

※ ①～⑦は自由来館児童や保護者対象の活動。(放課後児童クラブは非該当)

n=1,837

※ 館外活動やオンラインでの取組も含む

「本来」(コロナ禍以前)は、「小学生の自由来館」(90.9%)と「遊びによる子どもの育成」(90.5%)が約9割であった。「緊急期間」の活動は全体的に少ないものの、「放課後児童クラブの実施」(33.5%)、「子育てに関する相談対応」(22.4%)があった。「緊急期間以降」は、「遊びによる子どもの育成」(82.1%)と「小学生の自由来館」(80.9%)が8割まで回復している。



運営継続の判断

(1) 緊急期間及び緊急期間以降の意志決定者（複数選択）

	児童館主管課		児童館運営組織		児童館長		児童館職員	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
開館、休館	1,597	86.9%	108	5.9%	75	4.1%	6	0.3%
行事等の中止、実施	1,111	60.5%	386	21.0%	457	24.9%	105	5.7%
部屋、時間、人数等の制限	924	50.3%	297	16.2%	638	34.7%	203	11.1%

※ 児童館運営組織とは、社会福祉協議会、事業団、株式会社、NPO 等、児童館を運営する組織のこと n=1,837

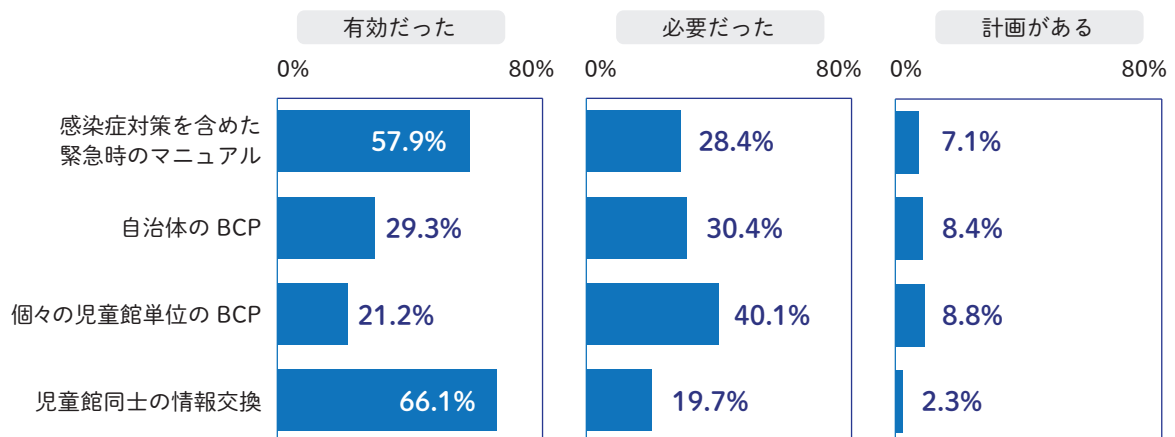
「開館、休館」は「児童館主管課」が 86.9%、「行事等の中止、実施」は「児童館主管課」が 60.5% で最も多い。「部屋、時間、人数等の制限」は「児童館主管課」が 50.3%、「児童館長」が 34.7% であった。

(2) マニュアル等の効果や予定

緊急期間中「(あって) 有効だった)」ものや、「(なくて) 必要だった)」もの。また、今後準備する計画の有無。(複数選択)

	有効だった		必要だった		計画がある	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
感染症対策を含めた緊急時のマニュアル	1,064	57.9%	522	28.4%	131	7.1%
自治体の BCP	539	29.3%	559	30.4%	155	8.4%
個々の児童館単位の BCP	389	21.2%	737	40.1%	162	8.8%
児童館同士の情報交換	1,215	66.1%	362	19.7%	43	2.3%

※ BCP とは、災害時における事業継続計画 (Business Continuity Planning)



「有効だった」ものは、「児童館同士の情報交換」が 66.1% で最も多く、次いで「感染症対策を含めた緊急時のマニュアル」が 57.9% だった。「必要だった」ものは、「個々の児童館単位の BCP」が 40.1% で最も多い。「計画がある」は、いずれも 1 割以下と低い回答であった。

他に「(あって) 有効だった」ものは、「児童健全育成推進財団が作成したガイドライン」や「オンライン環境」、「(なくて) 必要だった」ものは、「他機関との連携・情報共有」「正確な情報」「マスク・消毒用アルコール」などがあつた。

感染予防に配慮した活動やプログラム

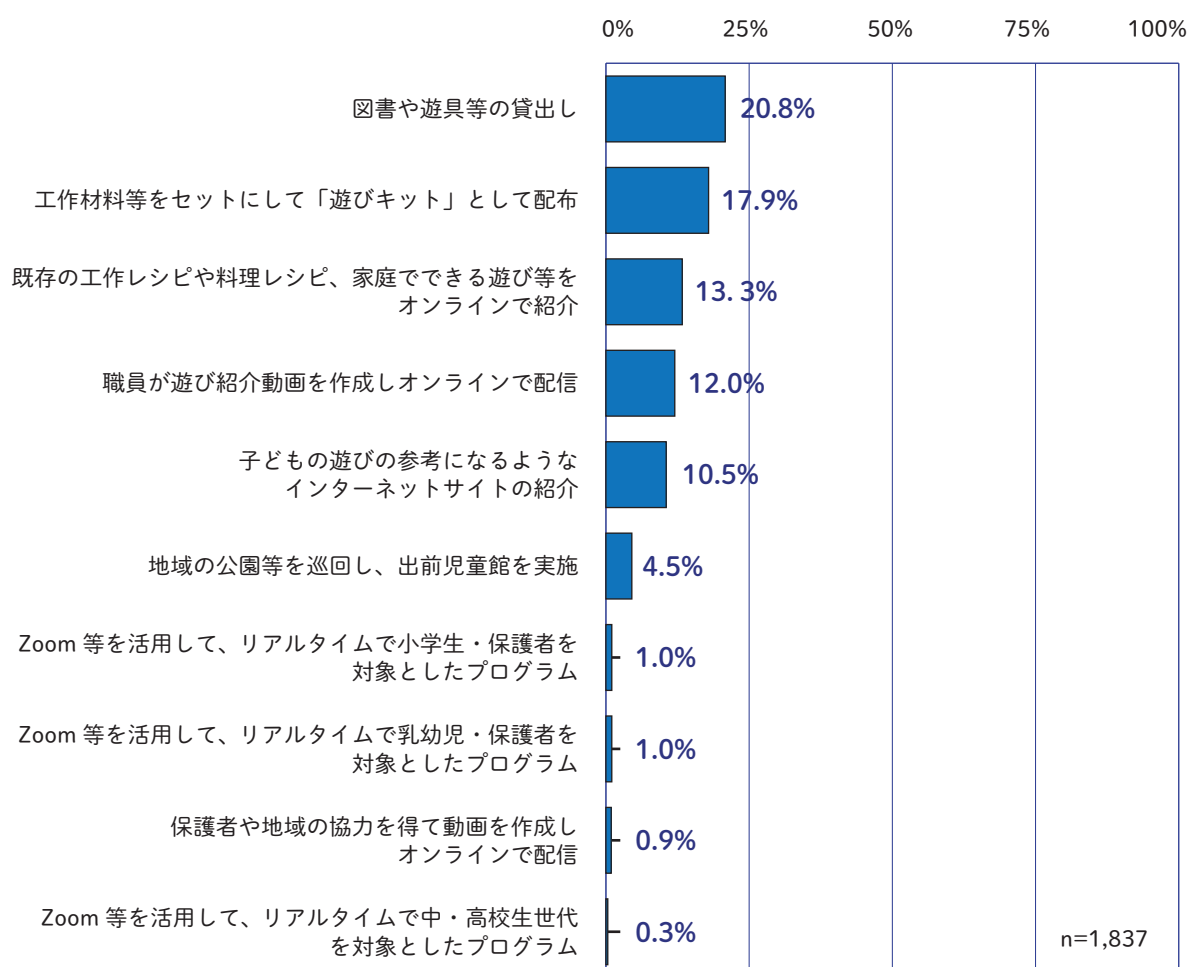
(1) 来館をともなわない遊びの提供（複数選択）

	回答数	割合
図書や遊具等の貸出し	382	20.8%
工作材料等をセットにして「遊びキット」として配布	328	17.9%
既存の工作レシピや料理レシピ、家庭でできる遊び等をオンラインで紹介	244	13.3%
職員が遊び紹介動画を作成しオンラインで配信	221	12.0%
子どもの遊びの参考になるようなインターネットサイトの紹介	193	10.5%
地域の公園等を巡回し、出前児童館を実施	82	4.5%
Zoom等を活用して、リアルタイムで小学生・保護者を対象としたプログラム	19	1.0%
Zoom等を活用して、リアルタイムで乳幼児・保護者を対象としたプログラム	18	1.0%
保護者や地域の協力を得て動画を作成しオンラインで配信	17	0.9%
Zoom等を活用して、リアルタイムで中・高校生世代を対象としたプログラム	6	0.3%
合計	1,510	100.0%

※ Zoom = パソコンやスマートフォン、タブレットなどを通して複数人でのビデオ通話を可能にするツールの名称

n=1,837

「図書や遊具等の貸出し」が20.8%、次いで「工作材料等をセットにして「遊びキット」として配布」が17.9%であった。その他に、「遊びなどをお便りで配布」などがあった。

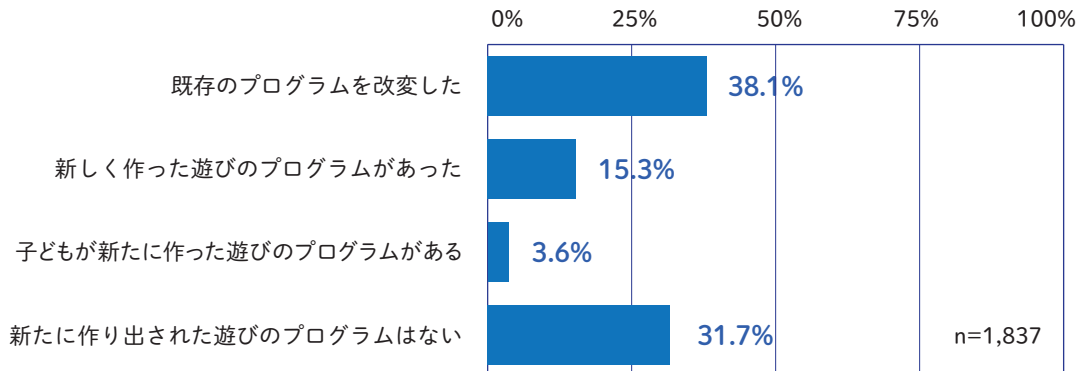


(2) コロナ禍で新たに作り出された遊びのプログラム（複数選択）

	回答数	割合
既存のプログラムを改変した	699	38.1%
新しく作った遊びのプログラムがあった	281	15.3%
子どもが新たに作った遊びのプログラムがある	66	3.6%
新たに作り出された遊びのプログラムはない	582	31.7%
合計	1,628	100.0%

※オンラインのプログラムも含む

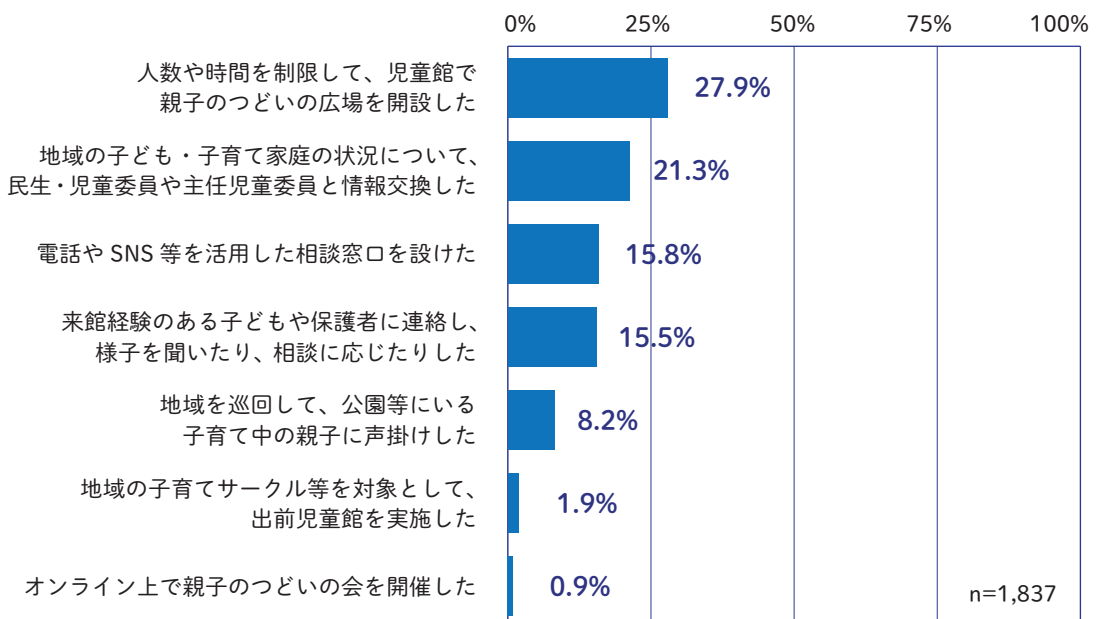
「既存のプログラムを改変した」が38.1%で最も多く、「新しく作った遊びのプログラムがあった」が15.3%だった。一方、「新たに作り出された遊びのプログラムはない」は31.7%だった。



(3) 子ども・子育て家庭の支援（複数選択）

	回答数	割合
人数や時間を制限して、児童館で親子のつどいの広場を開設した	513	27.9%
地域の子ども・子育て家庭の状況について、民生・児童委員や主任児童委員と情報交換した	392	21.3%
電話やSNS等を活用した相談窓口を設けた	291	15.8%
来館経験のある子どもや保護者に連絡し、様子を聞いたり、相談に応じたりした	284	15.5%
地域を巡回して、公園等にいる子育て中の親子に声掛けした	150	8.2%
地域の子育てサークル等を対象として、出前児童館を実施した	34	1.9%
オンライン上で親子のつどいの会を開催した	17	0.9%
合計	1,681	100.0%

「人数や時間を制限して、児童館で親子のつどいの広場を開設した」が27.9%、「地域の子ども・子育て家庭の状況について、民生・児童委員や主任児童委員と情報交換した」が21.3%であった。

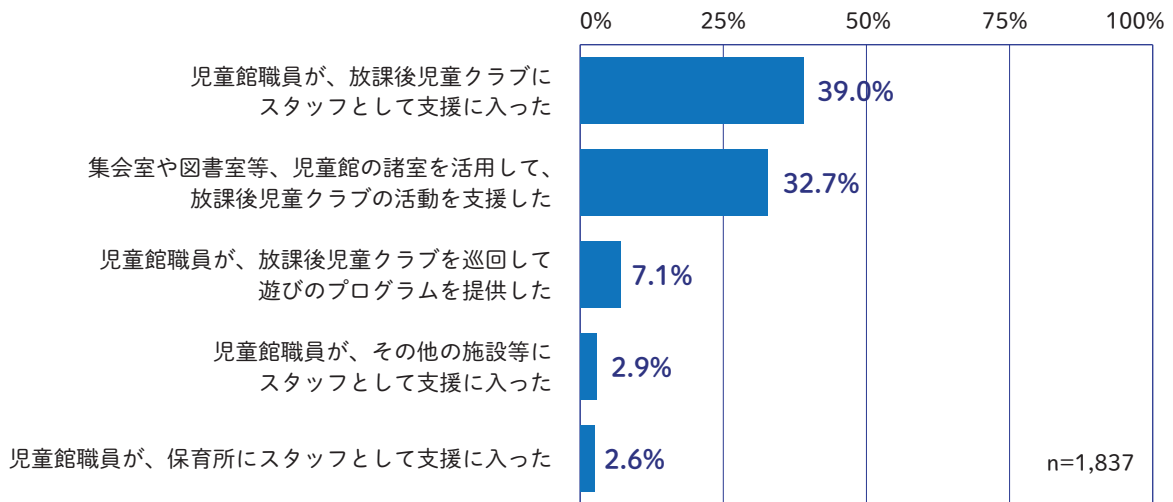


(4) 放課後児童クラブ・保育所等への支援（複数選択）

	回答数	割合
児童館職員が、放課後児童クラブにスタッフとして支援に入った	716	39.0%
集会室や図書室等、児童館の諸室を活用して、放課後児童クラブの活動を支援した	601	32.7%
児童館職員が、放課後児童クラブを巡回して遊びのプログラムを提供した	130	7.1%
児童館職員が、その他の施設等にスタッフとして支援に入った	53	2.9%
児童館職員が、保育所にスタッフとして支援に入った	48	2.6%
合計	1,548	100.0%

n=1,837

「児童館職員が、放課後児童クラブにスタッフとして支援に入った」が39.0%で最も多く、次いで「集会室や図書室等、児童館の諸室を活用して、放課後児童クラブの活動を支援した」が32.7%であった。



参考サイト

それぞれ参考になる資料や情報は、随時更新されているため「タイトル名」でインターネット検索してください。

内閣官房

○新型コロナウイルス感染症対策

<https://corona.go.jp/>

厚生労働省

○新型コロナウイルス感染症の“いま”に関する11の知識

新型コロナウイルス感染症に関する現在の状況とこれまでに得られた科学的知見について、まとめています。

○保育所等における新型コロナウイルス対応関連情報 / 放課後児童クラブにおける新型コロナウイルス対応関連情報
感染状況等にあわせて関係情報や通知が随時更新されています。

○保育所における感染症対策ガイドライン（2018年改訂版）

医療の専門家ではない保育士等にも積極的に活用いただけるものとなるよう、実用性に留意し、各節の冒頭に要点を示すなど、記載方法等の工夫がされています。

○放課後児童クラブにおける新型コロナウイルス対応関連情報

文部科学省

○学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル～「学校の新しい生活様式」～
衛生管理に関するより具体的な事項について学校の参考となるよう作成したものの。

○新型コロナウイルス感染症の予防に関わる指導資料

子どもたちが健康で安全な生活を送れるよう、各学校において指導の充実を図るための指導資料。

その他

○児童館のための新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン（児童健全育成推進財団）

○「#臨時休館でも児童館」事例紹介（児童健全育成推進財団ブログ）

【児童館における遊びのプログラム等に関する調査研究業務一式】

業務受託者：株式会社 ダイナックス都市環境研究所

協力：一般財団法人 児童健全育成推進財団

▼業務概要

- ・全国の児童館を対象としたアンケート調査
- ・遊びのプログラム等に関するヒアリング調査
- ・調査・検討委員会の実施
- ・冊子作成

▼児童館における遊びのプログラム等に関する調査・検討委員会

座長 安部 芳絵氏（工学院大学 教育推進機構 教職課程科 准教授、

厚生労働省 社会保障審議会児童部会 遊びのプログラム等に関する専門委員会 専門委員）

佐野 真一氏（港区麻布子ども中高生プラザ館長、

厚生労働省 社会保障審議会児童部会 遊びのプログラム等に関する専門委員会 専門委員）

大角 玲子氏（神戸市総合児童センター（こべっこランド）運営課長）

富川 万美氏（NPO 法人ママプラグ理事）

野澤 秀之氏（児童健全育成推進財団 第三者評価室長兼企画調査室次長（～10月）、

（11月～）児童育成協会 児童給食事業部次長・児童福祉啓発事業兼任）

▼ヒアリング調査にご協力いただいた児童館

札幌市新琴似西児童会館（北海道札幌市）

目黒区立平町児童館（東京都目黒区）

さいたま市立植水児童センター（埼玉県さいたま市）

川口市立戸塚児童センターあすばる（埼玉県川口市）

新座市児童センター（埼玉県新座市）

国立市矢川児童館（東京都国立市）

京都市修徳児童館（京都府京都市）

神戸諏訪山児童館（兵庫県神戸市）

松山市新玉児童館（愛媛県松山市）

鴨島児童館（徳島県吉野川市）

浦添市立宮城ヶ原児童センター（沖縄県浦添市）



「新型コロナウイルス感染症対応からの気づき
- 児童館における実践事例・データ集(令和2年度版) -」

令和3年3月発行

発 行：厚生労働省子ども家庭局子育て支援課

編 集：株式会社ダイナックス都市環境研究所

デザイン・DTP：安養寺ヒサノリ